

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 7 日 (2019.11.7)

【公開番号】特開 2019-12131 (P2019-12131A)

【公開日】平成 31 年 1 月 24 日 (2019.1.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-003

【出願番号】特願 2017-127636 (P2017-127636)

【国際特許分類】

G 1 0 H 1/053 (2006.01)

G 1 0 H 1/00 (2006.01)

G 1 0 H 1/34 (2006.01)

【F I】

G 1 0 H 1/053 C

G 1 0 H 1/00 A

G 1 0 H 1/34

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

演奏者のタンギング奏法を検出するタンギング奏法検出処理と、

前記タンギング奏法検出処理により演奏者のタンギング奏法を検出している際に、センサにしたがって算出された演奏者のリップ位置に基づいて、発音される音の消音を含む弱音化を制御する消音処理と、

を実行する制御部を備えることを特徴とする電子管楽器。

【請求項 2】

前記消音処理は、前記算出された演奏者のリップ位置が先端側の第 1 リップ位置の場合に、基準リップ位置の場合より発音される音が小さく低減するように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の電子管楽器。

【請求項 3】

前記消音処理は、前記算出された演奏者のリップ位置が基端側の第 2 リップ位置の場合に、基準リップ位置の場合より発音される音が大きく低減するように制御することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の電子管楽器。

【請求項 4】

前記消音処理は、前記算出された演奏者のリップ位置が前記第 1 リップ位置より先端側の第 3 リップ位置の場合に、発音される音が低減しないように制御することを特徴とする請求項 2 に記載の電子管楽器。

【請求項 5】

前記センサは少なくともマウスピース及びリードのいずれか一方に設けられている少なくとも 1 つ以上の接触センサであり、

前記タンギング奏法検出処理は前記接触センサの出力値にしたがってタンギング奏法を検出し、

前記消音処理は前記接触センサの出力値にしたがって算出された演奏者のリップ位置に基づいて、発音する音を弱音化することを特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれか 1

項に記載の電子管楽器。

【請求項 6】

電子管楽器の制御方法であって、
演奏者のタンギング奏法を検出するタンギング奏法検出ステップと、
前記タンギング奏法検出ステップにより演奏者のタンギング奏法を検出している際に、
センサにしたがって算出された演奏者のリップ位置に基づいて、発音される音の消音を含む弱音化を制御する消音ステップと、を含むことを特徴とする制御方法。

【請求項 7】

電子管楽器用のプログラムであって、
電子管楽器の制御部に対して、
演奏者のタンギング奏法を検出するタンギング奏法検出処理と、
前記タンギング奏法検出処理により演奏者のタンギング奏法を検出している際に、センサにしたがって算出された演奏者のリップ位置に基づいて、発音される音の消音を含む弱音化を制御する消音処理と、を少なくとも実行させることを特徴とするプログラム。